

インフラ整備と都市計画（大阪を中心として）

— 関西のインフラ整備を進める会（資料） —

2024/04/16 平峯 悠（於：キャッスルホテル）

— 目次 —

1. 価値観の違い

・クルマ社会への疑問 ・路面電車 ・都市居住と景観など

2. 都市計画についての大きな誤解

・仰天した「大阪都市計画局」 ・都市計画への誤解 ・都市計画と都市計画行政の混同 ・都市計画のこころ

3. 先人達の都市への思い

・劣悪な環境解消 ・居住空間と生活圏 ・都市の歴史と原型 ・美観形成

4. これまでの大規模プロジェクト

・大都市問題への対応 ・国土計画との整合 ・大規模プロジェクトの終焉
・後れをとったか関西

5. 人口減社会への対応

・首都圏の価値観は歪んでいる ・地域別人口から見た関西圏 ・定住と交流人口
・定住要件と都市の魅力度 ・大阪圏の遅れ

6. 都市再生

・いつまで続く経済活性化 ・車社会からの脱却 ・都市インフラ

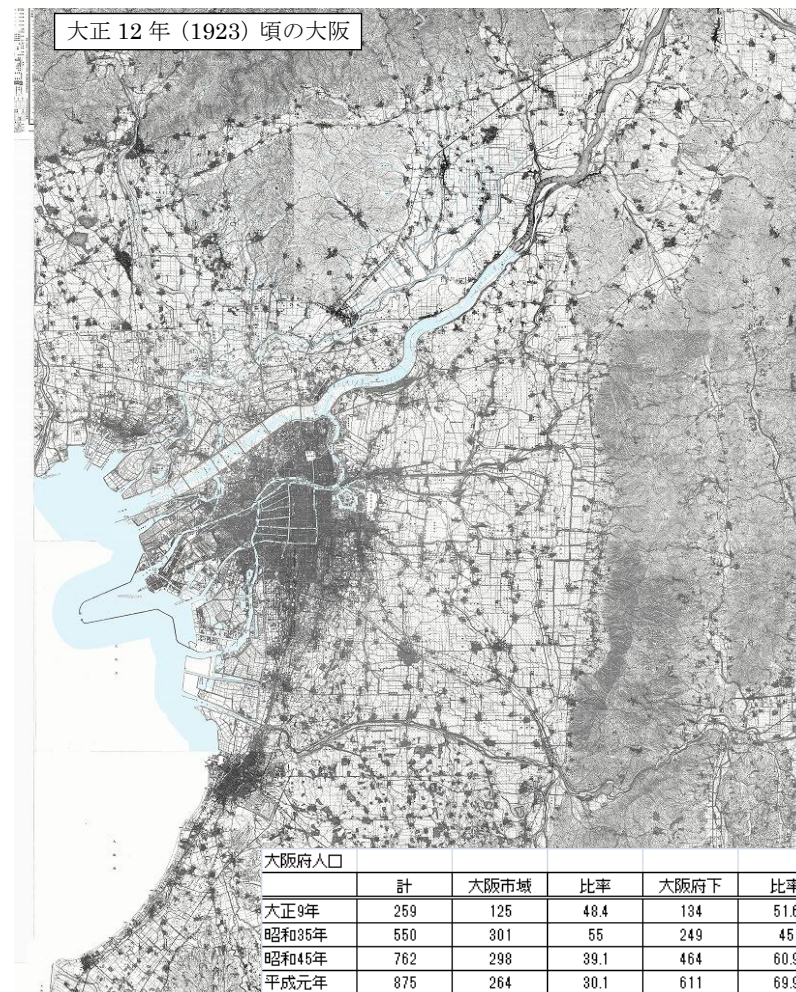
7. 都市の歴史を知り未来につなぐ

・地域の歴史を知らない ・地域、都市のキャラクターは計画の原点

8. 都市計画とインフラ

・都市計画とは？ ・産業構造とインフラ ・公共空間（街路空間の再配分）
・直面する最大の課題は「公共交通」 ・ヨーロッパ都市を学び直す

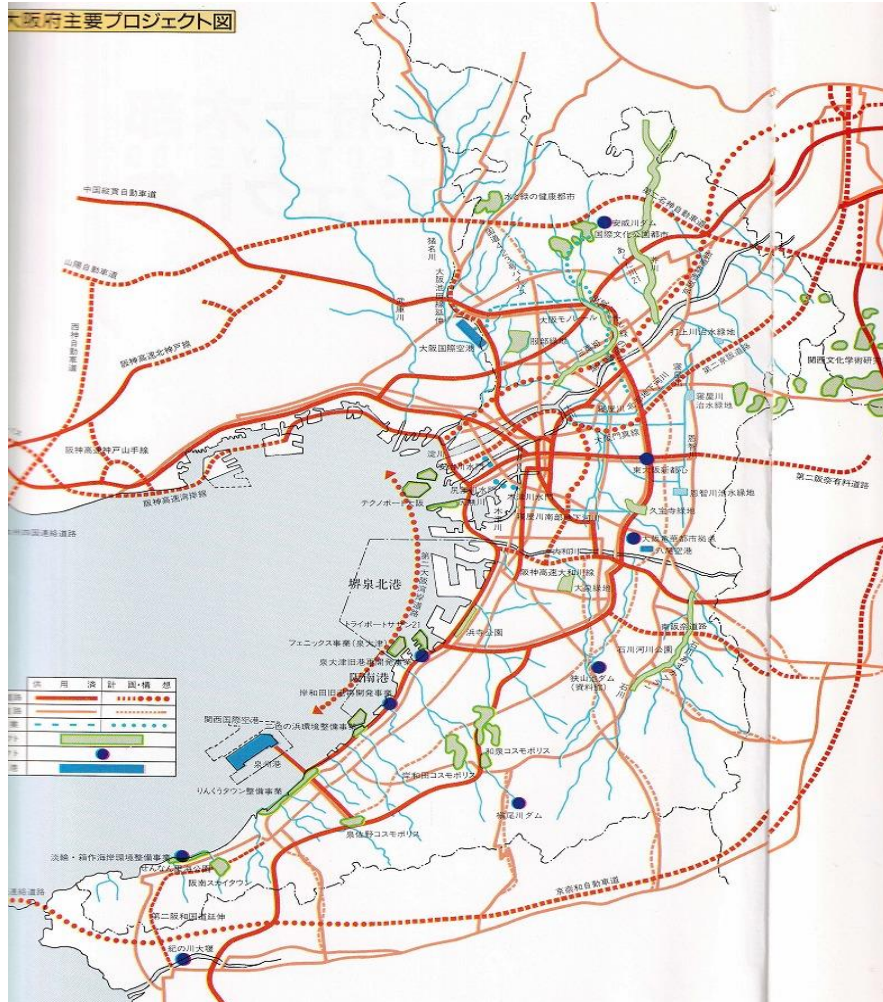
3. 先人の都市に対する思い



【要旨】

- ・大阪市を全国のリーダーとして強く意識。近代都市としての都市計画をつくる
- ・衛生状況の改善＝用途地域、自動車の増加に対応と交通状況の解消＝街路整備、市電の活用、都市美観の実現＝高度地区容積制等の導入
- ・人々の暮らしや生活環境の改善＝生活圏と住環境を重視、土地の整理＝区画整理
大阪の歴史的原型を前提とした都市改変（城下町、上町大地）
- ・都市自治権の拡大と都市専門官僚制の成立
- ・都市のインフラとしては、放射環状型道路網を基本とする。

大阪府主要プロジェクト図 (1995年版)



- 1995年以後完成
- ・第二名神高速道路 (現在枚方市域工事中) ・第二京阪道路 ・第二阪奈道路
 - ・南阪奈道路 ・阪神高速大和川線 ・竜華操車場跡地開発 ・吹田操車場跡地
- 未完成プロジェクト
- ・淀川左岸線 (一部工事中) ・阪神高速第二環状 (計画断念) ・関西大環状線
 - ・北大阪急行延伸 ・大阪モノレール南南伸 (北陸新幹線、リニア中央新幹線)

大阪市主要プロジェクト集 (1998年)



ごあいさつ

プロジェクトマップ

I 大阪湾の新都心

- ① テクノポート大阪計画 4
- ② 南港航空貨物ターミナル 6
- ③ ユニバーサル・スタジアムを核とする再開発 8
- ④ 此花西部臨海地区土地区画整理事業 10

II 魅力あふれる都市空間の形成

- ⑤ 都市型小規模工場団地建設事業 (CIT) 12
- ⑥ 湊町地区総合整備計画 (湊町プロジェクト) 14
- ⑦ 阿倍野地区第2種市街地再開発事業 16
- ⑧ 西梅田地区開発計画 (西梅田土地区画整理事業) 18
- ⑨ 露町用地土地信託事業 20
- ⑩ 中之島西部地区開発計画 22
- ⑪ 長堀通改造計画 (地下交通ネットワーク整備事業) 24
- ⑫ 大阪駅北地区総合整備計画 26
- ⑬ 北区扇町開発土地信託事業 28

III 生活の場としての高次な都市機能

- ⑭ 大阪市中央卸売市場本場整備事業 30
- ⑮ 淀川リバーサイド地区整備事業 32
- ⑯ 高見地区整備事業 34
- ⑰ 桜之宮中野地区整備事業 36
- ⑱ 三国駅周辺地区土地区画整理事業 38
- ⑲ 城北川改修事業 40
- ⑳ 駐車場整備事業 42
- ㉑ 高島地区整備事業 44
- ㉒ 高野浄水施設整備事業 46
- ㉓ 大野下水処理場焼却灰有効利用施設 48
- ㉔ 消防車両動態管理・情報電話システムの整備 50
- ㉕ 環境教育拠点施設 (仮称「エコプラザ」) 整備事業 52
- ㉖ 長吉東部地区土地区画整理事業 54
- ㉗ 道頓堀川水辺整備事業 56
- ㉘ 生野区南部地区整備事業 58
- ㉙ 大阪市中小企業振興総合拠点施設整備事業 60

IV 人間味ただよぶ都市生活文化の振興

- ⑳ 鶴見緑地みらい計画 62
- ㉑ 花と緑のまちづくりの推進 (クリーン大阪・2005事業) 64
- ㉒ スポーツアイランド 66
- ㉓ 地域スポーツセンター整備事業 68
- ㉔ 国際的なスポーツ施設整備事業 70
- ㉕ 大阪府立女性いきいきセンター (仮称「クレオ大阪」) 72
- ㉖ 大阪ドーム計画 74
- ㉗ 天保山地区再開発第2期計画 76
- ㉘ 大阪市立近代美術館 (仮称) 78
- ㉙ 新中央図書館建設事業 80
- ㉚ 新中央体育館 (仮称) 建設 82

V より安全で快適な都市基盤の形成

- ⑳ 片福連絡線 120
- ㉑ 南港・港区連絡線 122
- ㉒ 大阪市営地下鉄7号線延伸 (大正一丁目橋本一京橋間及び鶴見線地門真南間) 124
- ㉓ JR関西本線連続立体交差事業 126
- ㉔ JR阪和線連続立体交差事業 128
- ㉕ 南海本線連続立体交差事業 130
- ㉖ 中島大橋 (仮称) 132
- ㉗ なにわ大放水路 134
- ㉘ 土佐堀一津守下水道幹線 136
- ㉙ 平野川頭池延伸工事 138
- ㉚ 淀の大放水路 140
- ㉛ 舞洲一夢洲連絡橋 (仮称) 142

VI 国際イベント・コンベンション

- ⑳ トークルファッションフェア'96 144
- ㉑ 第9回大阪コレクション (APEC協賛事業) 146
- ㉒ 百原デザインフェスティバル 148
- ㉓ 御堂島・トレード 150
- ㉔ 大阪オリンピックの招致・開催 152
- ㉕ BPC row 154
- ㉖ 世界貿易センター連合 (World Trade Centers Association) 大阪大会の開催 156
- ㉗ 大阪国際貿易フェスティバル'96 158
- ㉘ 大阪フュー・コレクション'95・鶴見はなびープロジェクト大阪 160

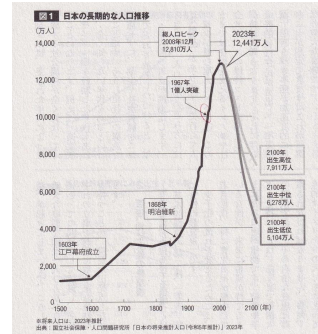
資料編

- ⑳ 大阪湾における臨海緑地を中心とした緑地の整備について、清野の提議 162
- ㉑ 近畿地方の主要プロジェクト 164
- ㉒ 完成プロジェクト一覧 (本誌3年度版掲載プロジェクト) 168

- 1998年以後完成 (主要プロジェクト)
- ・うめきた開発 (第一期完成) ・U S J開発 ・湊町、阿倍野再開発事業 ・西梅田
 - ・テクノパーク ・中之島西部地区 (継続) ・扇町開発 ・生野区南部
 - ・国際会議場 ・片福連絡線、大阪東線 (昭和46年都市交通審議会答申)
- 継続中及び新規プロジェクト
- ・淀川左岸線 森ノ宮開発プロジェクト
- 大正期以来継続してきた都市改変 (建物更新、再開発、街路整備等)—

5. 人口減社会への対応

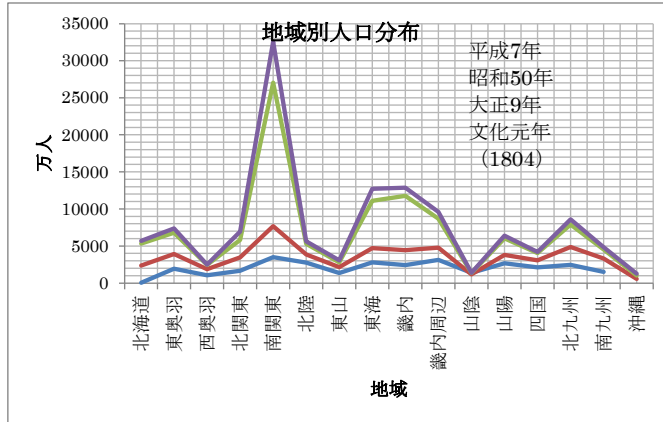
- ・2008年(平成20)をピーク
12,810万人
- ・消滅可能都市(2015年)
若年女性人口変化率: -50%以上の都市を消滅可能都市
大阪府: 能勢町、豊能町、千早赤坂村、河内長野市、河南町、岬町、富田林市、西成区、大正区、住之江区、中央区、柏原市、寝屋川市、浪速区



地域別人口分布

- ・大正期はほぼ均等に分布
- ・急激な人口増は南関東、近畿、東海で収容
- ・今後の人口減はどの地域で顕在化するか。その影響は。

	平成7年	平成22年
東京	1177	1316
神奈川	824	905
千葉	580	622
埼玉	670	719
南関東計	3251	3562
大阪	880	887
京都	263	264
奈良	148	140
畿内計	1286	1291



南関東: 東京、神奈川、千葉、埼玉 畿内: 大阪、京都、奈良

人口減社会への対応

- ・首都圏の価値観や考え方で見ない。
- ・人口減少の詳細(何処で、原因は、問題は)
- ・少子化、長寿化、晩婚化、核家族化、高齢単独世帯の増加と都市化とライフスタイル。

《基本的な対応》

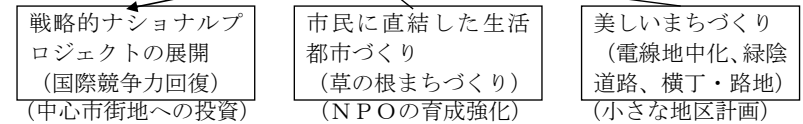
- ・定住人口の維持・増加と交流人口による賑わいの創出→都市計画の理念そのもの。
- ・定住の要件とは何か。都市計画の観点から定住の要件は、
 - ①良好な住宅環境、良好な公共空間があること(まち並み、自然的環境、公園・緑地)
 - ②安定した雇用・働く場所があること
 - ③良好なコミュニティが存在すること
 - ④歴史や伝統、文化を享受できること(イベント含む)
 - ⑤移動・交通が確保できていること
 - ⑥育児環境、学校教育環境

【都市の魅力度の向上】 【都市の適正規模】

シビックプライドランキング(読売広告社): 西宮、箕面、吹田、明石、神戸・・・
大阪に魅力はないのか? 堺市は?

6. 都市再生

都市再生戦略チーム 平成15年2月4日



“稚内から沖縄・石垣島まで”

大阪における都市再生プロジェクト

- ・大阪市域: 中之島、湊町・難波、新大阪、阿倍野、コスモスクウェアなど6地域
- ・大阪府域: 堺市、千里中央、高槻、枚方

《都市再生の評価》

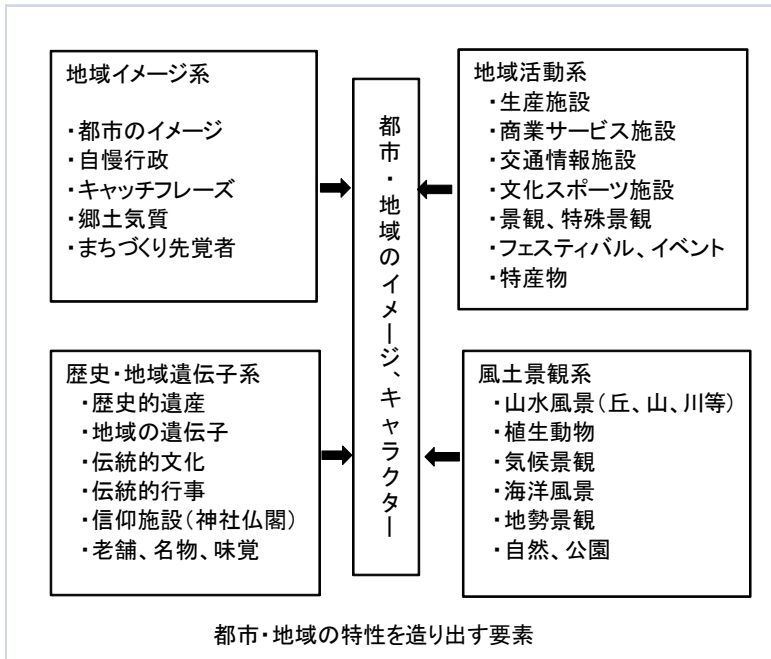
- ・まちづくり交付金獲得のための手段一国主導のプロジェクト
- ・都市中心部の再開発競争→超高層ビルの乱立、経済優先・効率重視
- ・美しいまちづくりは後回し。

《都市再生再考》

- ・都市インフラ=社会的共通資本: 豊かな生活を営み優れた文化を展開し、人間的に魅力のある社会を持続的に維持することを可能とするような自然環境と社会的装置をいう。
- ・都市ルネッサンスとして都市の方向を再構築する。
 - 【車社会からの脱却】【混合用途のメリット評価】【職住近接の再評価】
 - 【公共空間を取り戻す】
- ・クルマの規制強化
- ・人の空間・公共空間の確保(街角広場、歩行者道)、街路空間の再配分
- ・地区計画制度の見直し
- ・道路の地下化、インフラの新たな活用

7. 都市の歴史を知り未来につなぐ

都市・地域の特性



都市の特性(キャラクター) *

・歴史的に形成されてきた土地即ち「都市」には特性や個性が形成される。
都市計画の前提として、永年形成されてきた都市のイメージ・キャラクターを強調発展させるため、どの要素に重点を置き今後の指針にするかを明確にする。

大阪市及び周辺都市の特性は？

歴史・伝統文化及び地域資源

- ・地域に関与する人達にとって、知っておかねばならない基本的事柄
- ・「市史」の重要性
- ・地域遺伝子：人々の暮らし、生活の基盤として維持、継続、伝承されてきた地域固有の因子
- ・地域遺伝子は、①地域の成り立ち ②暮らしの中 ③伝統・伝承文化 ④教育その他の中に見出すことができる。

町衆によって守られ継続してきた都市の哲学・伝統

8. 都市計画とインフラ

現在の都市とは

人口集積の原点としての中心核をもち、それを人々は伝統として認識し、その上で一定規模の「業務施設」「商業施設」「便利施設」「居住施設」等必要な都市的施設を有する地域。

都市計画とは

歴史的に形成されてきた「土地」の上に(*)、人々の生活や暮らしを豊かにするため、その時々々の社会の要請に基づき、必要な施策は何かを明示し、それを具体化すること、をいう。

「土地の整序(区画整理、市街地整備等)」「都市施設(交通施設・広場・公園等)」「建物の整備更新」

《参考》

石川栄耀：1893～1955、内務官僚、名古屋市、東京都その他

早稲田大学研究室で戦後150の都市を見て歩く

「都市計画」は「計画者が都市に創意を加えるべきものではなくして」それは都市に内在する「自然」に従い、その自然が矛盾なく流れうるよう手を貸す仕事である。これを生態都市計画という名を与えたい。
わが国の都市が極めて不定なものであり我々の態度が「生態的」であるとすると一何か方法論としてその辺に考えがいきそうに思える。

都市における課題・問題(大阪圏を中心として)				
未だ解決されていない課題	これまでの施策が新に引き起こした課題	都市インフラ・エネルギー	新しい都市論、計画論	広域計画・行政
街路、広場の整備	公共交通の衰退	リニア新幹線	定住及び交流人口の維持・増加	国・府県市町村の役割の見直し
交通事故の根絶	交通貧困地域と買い物難民	路面電車の再生・整備	既設インフラの活用	道州制
密集市街地再生	路線商店の衰退・シャッター街	公共交通網の充実	都市施設の再配置	都市経営
電線地中化	NT、住宅団地の再生・修復		生活圏の再生充実	
都市景観			歴史・地域資源を活かした都市計画	
(北陸新幹線)	(国土構造の歪み)		高度・容積制の見直しと景観	

都市及び都市計画とインフラ

- ・産業革命は第二次産業への構造転換→基幹インフラは鉄道、道路
- ・第三次産業の発展は、鉄道・道路に加え通信インフラを不可欠なものにした。
- ・これまでの産業構造を支えるインフラは概ね整備された。

{今後必要となるもの} →コロナによる変化の顕在化

- ・情報産業を支えるインフラ
- ・新しい産業或いは産業構造に応じたインフラ
- ・都市定住と交流に必要なインフラ
都市の公共空間（公園・広場、人間の空間）、歴史と地域資源を活かしたまちづくりに必要なインフラ。交流空間、美観・景観
—公共空間の創出、街路空間の再配分—
- ・公共交通
- ・組織や仕組み：府縣市、住民・市民、NPO等及び民間企業の役割分担

《最後に》

都市計画は大変地味で、時間を要する行為である。しかも特効薬がないという意味では、「漢方医、漢方薬」に比することができる。

→「町医者・赤ひげ的都市計画家」の必要性（伊藤滋）

ヨーロッパ都市を「学び直す」

大阪が生きる道は、母都市大阪の都市再生と地域連携、広域連携